

QSS-3502Green タンク液の調液方法【MPC仕様共通】

1. 処理薬品の準備

処理薬品 (MPC-22)	P-1R (CD)	P-2R (BF)	P-3R (STB)	P-1S
必要箱数	1箱	1箱	1箱	—
使用本数	1本	1本	4本	2本

2. 調液割合

母液タンク容量		P-1 (CD)	P-2 (BF)	P-3 (STB)
		15.7 L	15.8 L	31.7 L
調液割合	補充液	6.2 L	9.5 L	31.7 L
	スターター	1,725 ml	—	—
	水	7.8 L	6.3 L	—

3. タンク液の調液

* 各母液タンクから処理ラックを抜き出す時、液が他の母液タンクに入らないよう十分注意してください。

* 調液に使用する容器(バケツ)は、CD用とその他用を分けてください。

- P-1
(CD)
- a. 容量 20L 以上の清潔な容器に 15~40℃ の水を 8L 用意します。
 - b. P-1R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 - c. 上述のb. で作った液(P-1R 補充液)を CDサブタンクから 6.2L 注入します。残った液は補充タンクに入れてください。(約 3.8L)
 - d. P-1S (スターター) 1,725mLを CDサブタンクから注入します。
 - e. 15~40℃ の水をオーバーフローするまで CDサブタンクから注入します。(約 7.8L)

- P-2
(BF)
- a. 容量 10L 以上の清潔な容器に 15~40℃ の水を 5L 用意します。
 - b. P-2R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 - c. 上述のb. で作った液(P-2R 補充液)を BFサブタンクから 9.5L 注入します。残った液は補充タンクに入れてください。(約 0.5L)
 - d. 15~40℃ の水をオーバーフローするまで BFサブタンクから注入します。(約 6.3L)

- P-3
(STB)
- a. 容量 20L 以上の清潔な容器に 15~40℃ の水を 19.8L 用意します。

- b. P-3R を2本投入し、1分程度攪拌して調液します。
- c. 上述のb. で作った液(P-3R 補充液)20L を 各STBサブタンクから全量注入します。
- d. 続けて同じ容器に 15~40℃ の水を 19. 8L 用意します。
- e. P-3R を2本投入し、1分程度攪拌して調液します。
- f. 上述のe. で作った液(P-3R 補充液)を 各STBサブタンクからオーバーフローするまで注入します。残った液は補充タンクに入れてください。(約 8. 3 L)

*サブタンクとは、ケミカルフィルターが装着されている箇所を指します。
ケミカルフィルターを抜き、そこから薬液を注入してください。

【 参考 】 補充液 作成方法

処理薬品名称	水 (15~40℃)	薬品	仕上り量
MPC-22 P-1R (CD)	8 L	P-1R 1個	10 L
MPC-22 P-2R (BF)	5 L	P-2R 1個	10 L
MPC-22 P-3R (STB)	9. 9 L	P-3R 1個	10 L

【 参考 】 1 L あたりのタンク液 調液割合

処理薬品名称	補充液	スターター	水	仕上り量
MPC-22 P-1 (CD)	400 mL	110 mL	490 mL	1 L
MPC-22 P-2 (BF)	600 mL	—	400 mL	1 L
MPC-22 P-3 (STB)	1000 mL	—	—	1 L